

『Innovators Under 35 Japan 2022 in Nihonbashi』 受賞者 14 名が一堂に会する授賞式を本日ライブ配信

MIT テクノロジーレビューが主催する国際アワードの日本版
受賞者の中から協賛企業が選定する特別賞も発表

MIT テクノロジーレビュー [日本版] (運営: 株式会社角川アスキー総合研究所、代表取締役社長: 加瀬典子) は、主催する『Innovators Under 35 Japan 2022 in Nihonbashi (イノベーターズ・アンダー35 ジャパン・イン・ニホンバシ 2022)』のセレモニーイベントを、2022年12月15日(木)15時より室町三井ホールで開催します。本イベントはライブ配信を予定しており、無料でご視聴いただけます。



本イベントでは、AI/ロボット工学、医学/生物工学、エネルギー/持続可能性、輸送/宇宙開発などの分野で活躍する2022年の日本発の若き才能14人を表彰し、受賞者全員が自身の活動についてプレゼンテーションします。また、審査に携わった専門家や過去の受賞者とのトークセッション、特別講演などを通じ、よりよき未来を作るためのイノベーションについて考えます。

MIT テクノロジーレビュー [日本版] のYouTube 公式チャンネルから、ぜひご視聴ください (無料)。

<https://www.youtube.com/@mit9089>

■ イベント概要

名称: Innovators Under 35 Japan Summit 2022 in Nihonbashi

日時: 2022年12月15日(木) 15:00~19:00

会場: 室町三井ホール

主催: MIT テクノロジーレビュー [日本版] (運営: 株式会社角川アスキー総合研究所)

協賛: 三井不動産株式会社、X-NIHONBASHI、株式会社電通国際情報サービス

協力: 株式会社紀伊國屋書店、一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン

ゲスト出演:

中島秀之氏 (札幌市立大学教授/2022 審査員)

江守正多氏 (東京大学未来ビジョン研究センター教授/国立環境研究所上級主席研究員/2022 審査員)

安田クリスティーナ氏 (国際 NGO InternetBar.org/米マイクロソフト/2020 受賞者)

宇井吉美氏 (aba/2021 受賞者)

※受賞者のプロフィールおよび本アワードの詳細については、公式サイトをご覧ください。

Innovators Under 35 Japan 2022 公式サイト

<https://events.technologyreview.jp/iu35/2022/>

■特別賞「ISID 賞」が決定

全受賞者 14 名の中から、協賛企業が特に注目する受賞者に授与する賞です。本年度は「ISID 賞」が次の通り授与されます。

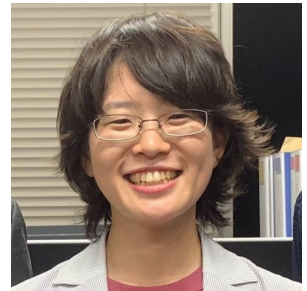
受賞者：大西鮎美氏（神戸大学）

活動内容：人間の疲労を克服する次世代のウェアラブルデバイスを開発。充電なしで利用できるデバイスも開発し、普及させるにあたっての課題解決にも取り組んでいる。

選定企業：株式会社電通国際情報サービス

選定理由：

「〇〇疲れ」という言葉があふれるデジタル時代において、社会的に意義の大きい研究だと思えます。また、XR や HCI といった研究領域の幅広さがあり、その融合による発展の期待から選定しました。



■Innovators Under 35 Japan 2022 in Nihonbashi 概要

本アワードは、米国マサチューセッツ工科大学（MIT）のメディア部門「MIT テクノロジーレビュー」が主催する国際アワード『Innovators Under 35』の日本版として開催し、世界的な課題解決に取り組む若きイノベーターの発掘、支援を目的としています。

3 回目の開催となる本年度は、従来の「コンピューター／電子機器」「ソフトウェア」「輸送（宇宙開発）」「インターネット」「AI／ロボット工学」「通信」「エネルギー／持続可能性」に、「医学／生物工学」を加えた全 8 分野から 35 歳未満の起業家、研究者、活動家を選出しました。

受賞者は翌年の「Innovators Under 35」グローバル版の審査対象にノミネートされます。



昨年度のセレモニーイベント

■Innovators Under 35 について

「Innovators Under 35」は、米国マサチューセッツ工科大学（MIT）のメディア部門「MIT テクノロジーレビュー」が主催する国際アワードです。世界的な課題解決に取り組み、向こう数十年間の未来を形作る、35 歳未満の若きイノベーターの発掘を目的としています。過去には Google 共同創業者のセルゲイ・ブリン氏、Meta (旧称 Facebook 社) 共同創業者兼会長兼 CEO のマーク・ザッカーバーグ氏も受賞するなど、国際的に権威あるアワードとして高く評価されています。

<グローバル版 過去の主な受賞者>

- ・1999年：ヘレン・グライナー氏（iRobot 共同創業者）
- ・2002年：セルゲイ・ブリン氏（Google 共同創業者）
- ・2007年：マーク・ザッカーバーグ氏（Meta（旧称 Facebook 社）共同創業者兼会長兼 CEO）
- ・2008年：ジャック・ドーシー氏（Twitter 共同創業者兼 CEO）
- ・2012年：ドリュー・ハウストン氏（Dropbox 共同創業者兼 CEO）
- ・2017年：イアン・グッドフェロー氏（Apple/元 Google 機械学習研究者）

■MIT テクノロジーレビューについて

『MITテクノロジーレビュー（MIT Technology Review）』は、1899年に米国マサチューセッツ工科大学によって創設された、世界で最も歴史と権威があるテクノロジー誌です。米国版の読者層はその8割超がテクノロジー部門の責任者であり、6割が経営層です。

日本版は米Technology Review Inc.とのライセンス契約のもと、株式会社角川アスキー総合研究所が2016年から会員制Webメディアとして運営し、2020年からは紙媒体『MITテクノロジーレビュー [日本版]』も発行しています。

[日本版] 公式サイト

<https://www.technologyreview.jp/>

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ】

株式会社角川アスキー総合研究所 広報担当 堀

press-cp@lab-kadokawa.com